



学校教育目標

自ら学び、心豊かで、たくましい児童の育成

～みんなが元気 みんなで前進～

めざす児童像

「自ら考え、自ら学ぶ子」

「やさしく思いやりのある子」

「たくましい子」

よい音が聞こえる学校！

学校が児童にとって安心・安全な場所となるためには、「温かく、規律がある」「一人一人のよさが認められる」こと等が大切です。こうした学校ではいろいろな活動において、自然と「よい音が聞こえる」と思っています。「よい音」とはその場にふさわしい音です。例えば、爽やかな挨拶の声、友達の考え方を反応しながら聞く音、教師が児童の頑張りを認める言葉、元気な授業開始の挨拶の声、校歌や今月の歌等を斎唱する声、友達の頑張りを応援する声、書く活動の時に鉛筆の音だけが聞こえる真剣さが伝わる静けさ、掃除の時間に雑巾がけやズックの音しかしない静けさ、運動時の激しい息づかいの音等です。一人一人がやるべきことを正しく判断して行動できるように指導していきます。



[キュッキュッ 心地よい音]



[集中した朝活動]



[今月の歌 やさしい歌声]

音楽会に向け、気持ちをそろえて

6月に予定されている「白山市音楽会」に向けて、4年生が動き出しました。学年オリエンテーションでは、今後の見通しや取組を確認した後、これから頑張っていくパートを決めるために、山口先生の演奏を聴きました。「どのような演奏にしたいのか」「どのように取り組むのか」等において、気持ちをそろえることを通して、成長してほしいと願っています。



自転車に乗る時は、ヘルメットの着用を！

自転車乗車時に交通事故に遭った場合、「ヘルメットを着用し、あごひもをしっかりと締めていること」によって、頭部が自動車や路面等に強くぶつかったとしても、「後遺症が残ったり、命を落としたりせずに、幸い軽症で済んだ」という事案がいくつもあるそうです。まずは、自転車に乗っていても、歩行者であっても、交通ルールを守り、「止まる、左右の安全を確認する」、「車や相手が来るのでないかと危険なことを予想して、通行することが大切です。お子様と交通安全について、今一度話をするようお願いします。誰もが自分が事故に遭うとは思っていないが、いつ事故に遭うかわかりません。特に、ヘルメットを必ず被る、あごひもをしめるようにお子様に再度ご指導願います。